



令和 2 年 2 月 20 日

## ファジウォーカープロジェクト：産官学が連携して、 J2 ファジアーノ岡山の試合観戦時における自家用車利用の削減に成功！！

### ◆発表のポイント

- ・ 渋滞緩和や地域活性化などを目的に、産官学が連携して J2 ファジアーノ岡山の試合観戦時のアクセスを自家用車からそれ以外の手段に転換してもらうプロジェクトを 2016 年より始動。
- ・ 2019 年、本プロジェクトによって自家用車からその他の手段に転換した観戦者の割合は 11%（自家用車利用者のうち）であり、これはホームゲーム 2.3 試合分の自家用車利用の削減量にあたります。
- ・ 転換後の交通手段は鉄道が 48%、自転車は 18%、路線バスは 16%でした。転換のきっかけは、「行動プラン法によるワンショット TFP」（※1）が 23%と最も高く、ついで「SNS」が 10%でした。

岡山県総合グラウンド周辺の国道 53 号は慢性的な交通渋滞に悩まされています。また、Jリーグ・ファジアーノ岡山戦が開催されると 1 万人近いサポーターが集まり、にぎわいが創出される一方で、さらなる渋滞などの交通問題を引き起こす要因の 1 つにもなっています。そこで渋滞緩和や地域活性化を目的に、ファジウォーカープロジェクト（委員長：岡山大学大学院環境生命科学研究科・氏原岳人准教授）を 2016 年 7 月に立ち上げ、自家用車からそれ以外の交通手段に転換してもらうための手法を検討してきました。2017 年から具体的な施策を実施しており、2019 年 8～9 月にも岡山県総合グラウンドまでのアクセスを自家用車から公共交通・自転車・徒歩等に自発的に転換してもらうための 11 施策「Project11」を展開しました。同年 10 月には、その効果を検証するためのアンケート調査（10 月 20 日のホームゲーム時に岡山県総合グラウンド周辺にて無作為に抽出した試合観戦者 787 人を対象）を実施しました。2019 年の主な結果は以下のとおりです。

- 1) 試合観戦者の本プロジェクトの認知度は 79%でした。「ファジウォーカー」（※2）という言葉を中心に、サポーターの方々にプロジェクトが浸透していることが分かりました。
- 2) 本プロジェクトによって試合観戦時のアクセスを自家用車からその他の手段に転換した観戦者の割合は、自家用車利用者の 11%でした。これを年間に換算すると、ホームゲーム 2.3 試合分の自家用車利用の削減量にあたります。
- 3) 転換後の交通手段は鉄道が 48%、自転車は 18%、路線バスは 16%でした。転換のきっかけは、「行動プラン法によるワンショット TFP」が 23%と最も高く、ついで「SNS」が 10%でした。



## PRESS RELEASE

### <プロジェクトメンバー>

岡山大学、国土交通省中国地方整備局岡山国道事務所、株式会社ファジアーノ岡山スポーツクラブ、西日本旅客鉄道株式会社岡山支社、岡山電気軌道株式会社、両備ホールディングス株式会社両備バスカンパニー、株式会社 i プランニング KOHWA、HIDETO SATO DESIGN、岡山プロスポーツ文化まちづくりサークル SCOP

### <今後の取り組み>

2019 年までの調査結果や岡山国道事務所の渋滞調査などの結果を参考にして、2020 年シーズンに向けた取り組みを本実行委員会にて検討していきます。

### <その他>

本取り組みは、岡山大学と国土交通省中国地方整備局との包括的連携・協力に関する協定書に基づき実施されています。

### <補足・用語説明>

(※1) 行動プラン法によるワンショット TFP：岡山県総合グラウンド周辺まで自家用車で来場する人を対象に、アンケート調査で「もし自家用車以外の交通手段で来訪される場合は、どのような方法がありますか？」と問い、その行動プランを具体的に考えてもらう方法。これまで当たり前のように自家用車で来場していた観戦者に新たな気付きを与えられる。

(※2) ファジウォーカー：徒歩や自転車、公共交通などの人・地域・地球にやさしいアクセス手段によって、ファジアーノ岡山のホームゲーム時にスタジアムやその周辺を訪れる人

### ◆研究者からのひとこと

プロジェクトの実施中にうれしかったことは、サポーターの皆様が、たくさん声をかけてくれたことです。今回の結果はサポーターの皆様の理解と協力があってこそ得られた成果です。



氏原准教授

### <お問い合わせ>

岡山大学大学院環境生命科学研究科

准教授 氏原 岳人

(電話番号) 086-251-8850

(FAX番号) 086-251-8850

(メール) [ujihara@okayama-u.ac.jp](mailto:ujihara@okayama-u.ac.jp)



岡山大学は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

